

1.説明会の流れ(2時間30分)

	時間	コンテンツ
第1部 行政課題 編	15:00～15:05	5分 挨拶 名古屋市スタートアップ支援室
	15:05～15:10	5分 Hatch Technology NAGOYAとは 事務局
	15:10～15:15	5分 課題説明(動画)
	15:15～15:55	40分 ブレイクアウトルーム(分科会) 各担当部署と企業で質疑応答
	15:55～16:00	5分 よくあるQ&Aの紹介、全体QA、応募の注意点
	16:00～16:15	15分 休憩
第2部 社会課題 編	16:15～16:20	5分 Hatch Technology NAGOYAとは 事務局
	16:20～16:30	10分 課題説明(動画)
	16:30～17:10	40分 ブレイクアウトルーム② 各担当部署と企業で質疑応答
	17:10～17:15	5分 よくあるQ&Aの紹介、全体QA、応募の注意点
	17:15～17:20	5分 クロージング 事務局
	17:30	終了



2.事業目的

「Hatch Technology NAGOYA」とは

技術の研究開発や社会実装を促進し、先進技術を有する企業等の集積を図るため、様々な課題に対応する先進技術を活用した社会実証を支援する事業。(令和元年度からスタート)

本日
ご説明
対象

(1) 課題提示型支援事業

本市が提示する課題の解決を図る社会実証について、実証に向けたマネジメントや経費の支援等を実施

(2) フィールド活用型支援事業

施設等のフィールドを活用した社会実証について、産学官によるネットワークコミュニティにおいて、先進技術を有する企業の提案とのマッチングや実証に向けたマネジメント等を実施

(3) 先進技術体験事業

先進技術に関する理解を深めるとともに、社会への実装に向けた受容性を高めるため、本市の社会実証に市民が広く参加できる体験イベントを実施



3.実証プロジェクトの件数と支援の上限額

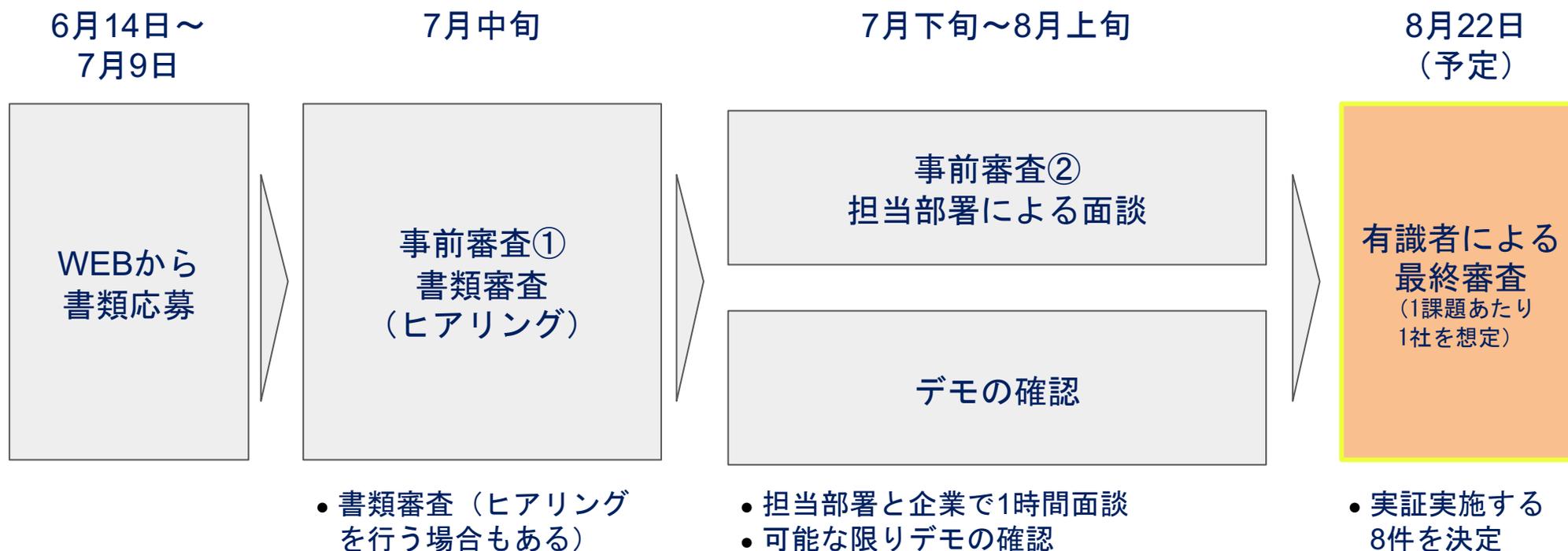
募集中の13件の課題から8件の実証プロジェクトを実施する予定です。

区分	行政課題	社会課題 (グリーン化)	社会課題 (DX)	社会課題 (一般)
企業募集件数	5件	4件	2件	2件
実証プロジェクト 件数	4件	1件以上	1件以上	
		4件		
支援金 (税込み・最大)	700千円/件	4,000千円/件		



4.選考プロセス

3段階で選考を実施します。最終審査にて、8件の実証プロジェクトを決定します。



5. 審査基準

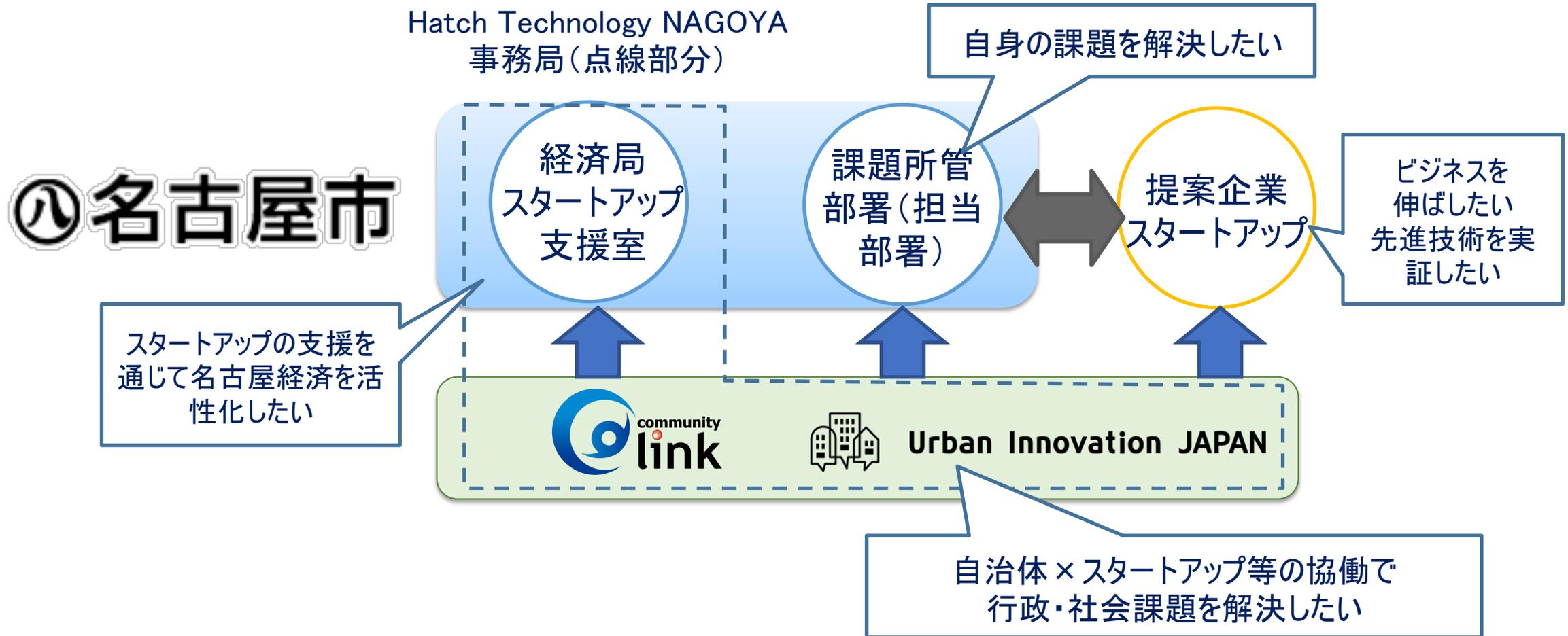
先進技術の社会実証を行い、名古屋でのモデルを作り、全国へ展開できるサービスを目指します。

審査項目	内容	配点
チームの優秀度	チームメンバーが優秀でバランスがよいか	15
課題の理解度・効果	テーマを適切に理解し、実現可能な解決手法になっているか 提案された解決手法により高い改善効果が認められるかどうか	25
職員との協調性	職員と協働しながらより良いサービス開発を進める熱意があるか	15
新規性・創造性	他のサービスと差別化できる要素を持っているか 行政関連分野で商用化されていないか	20
継続性・収益性	ビジネスモデルが構築できているか 事業継続できる収益基盤があるか 他都市への横展開が可能なビジネスになっているか	20
地域との連携	将来的に名古屋地域への貢献、立地などが見込まれるか	5
合計		100



6.体制

受託事業者であるコミュニティリンクが、実証プロジェクトまで伴走します。



7.協働の進め方(イメージ)

ブラッシュアップを繰り返しながら、課題解決に資するサービスを協働で開発・実証を行います。

協働期間(イメージ)



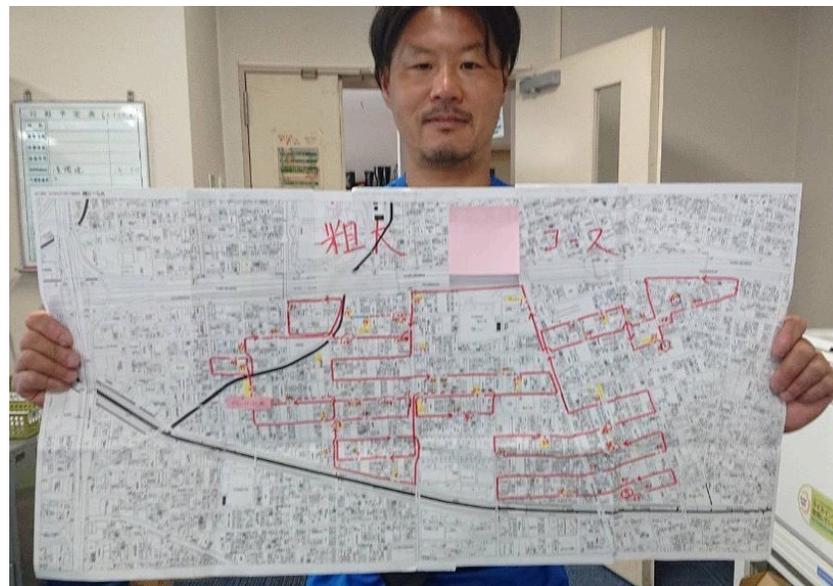
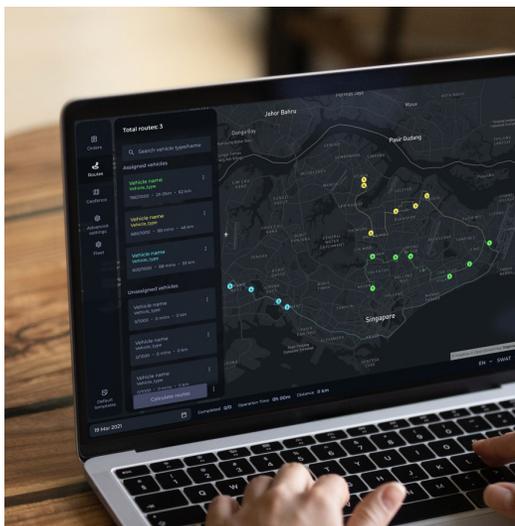
8. 昨年の実証事例

課題

地図作成の手間を減らしたい

実証内容

申込情報から自動で複数車両への担当割り振り、ルート作成するツールの開発



SWAT Mobility Japan株式会社

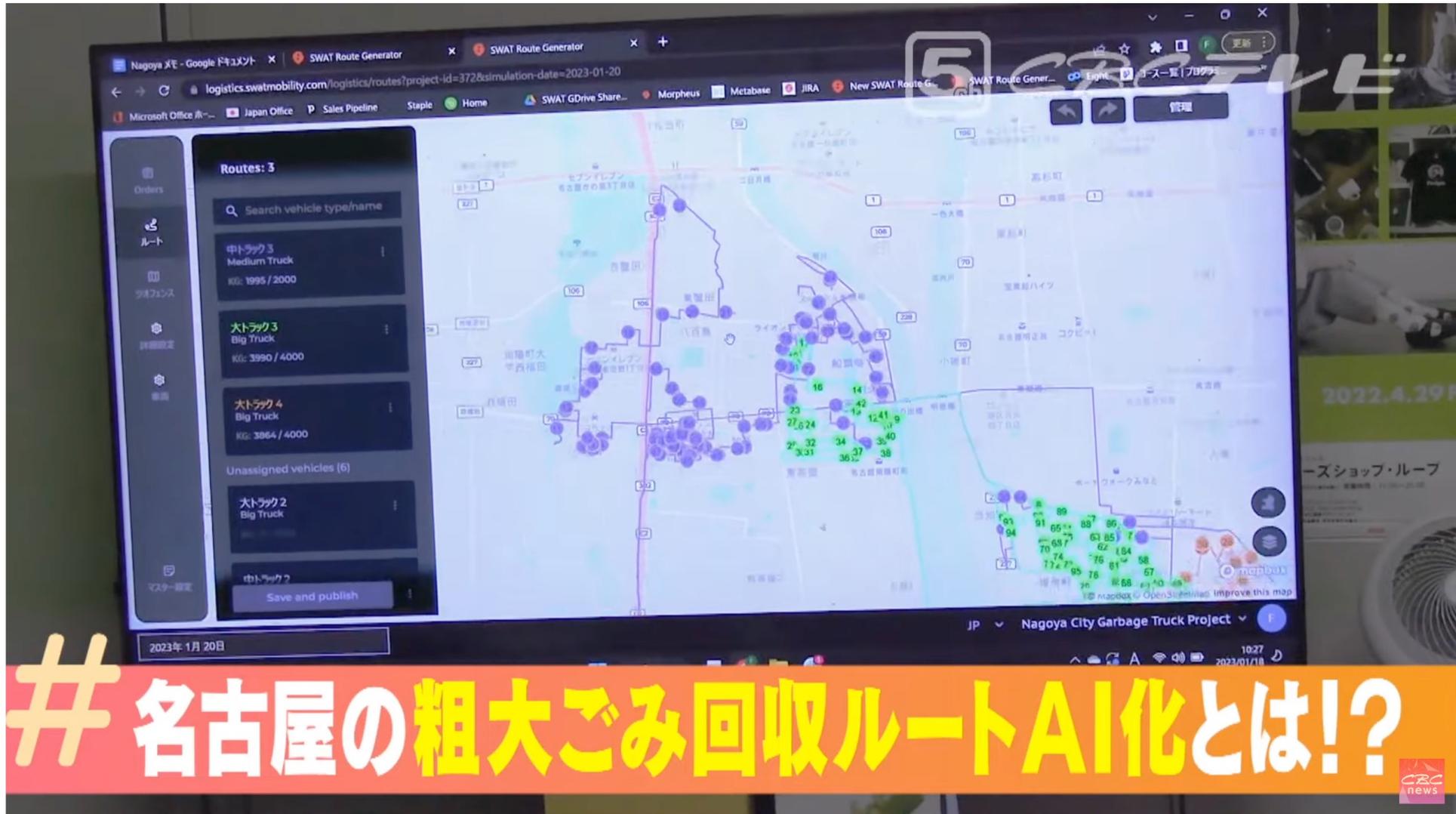
名古屋市環境局

実績

地図手書き時間は10分の1に削減できたが、車両割当など全体作業に展開は要調整
メディアでも多数露出あり



テレビニュースでも取り上げていただきました。



出典 : <https://newsdig.tbs.co.jp/articles/cbc/314516?display=1>



今年度事業提案を募集するテーマの説明動画



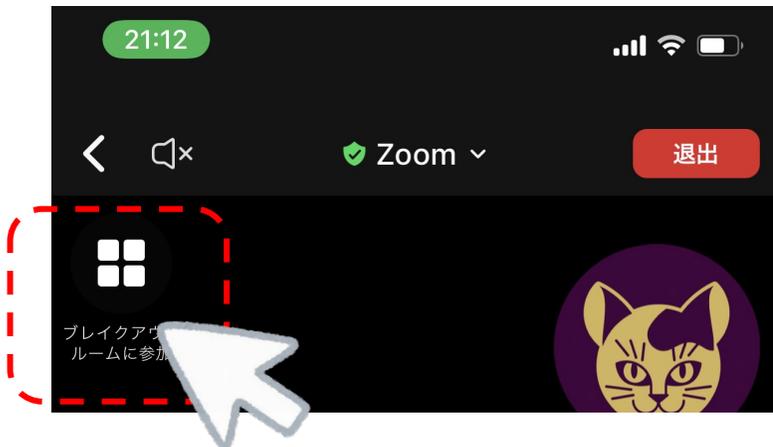
10.課題QA ブレイクアウトルーム

■入室方法

画面下部のブレイクアウトルームボタンを押し、部屋を選択して、入室してください。



スマホの方は、画面左上のボタンから入室してください。



10.課題QA

ブレイクアウトルームは40分で実施します。途中移動していただいてもOKです。

【お願い】

- 各課題とも解決策の詳細な仕様が固まっているわけではありません。
- 課題を深掘りするお時間としていただければ幸いです。
- 批判の場ではありません。課題解決に向けた前向きな議論をお願いします。
- 競合する企業同士かもしれませんが、ぜひ顔出しをお願いします。
- 提案や売り込みは、ぜひ応募フォームにぶつけてください！



11.よくある質問

Q. 実証支援金を超える費用がかかった場合は請求できますか？

A. 今年度の実証にかかる費用でお支払いできるのは、行政課題1件あたり70万円（税込み）上限
社会課題1件あたり400万円（税込み）上限となっています。超過する部分については、実証事業者側でのご負担をお願いします。

Q. 提案前にもう一度担当部署と話したいのですが。

A. 提案前に個別に担当部署と面談することはできません。今日の時間内にぜひご確認ください。
審査の中で担当課と面談の機会がございますので、その際に詳細なすり合わせが可能ですので、まずはご提案いただけますと幸いです。また、最終審査前に提案書の更新も可能です。



11.よくある質問

Q. 名古屋市からはどんな支援が受けられますか？

A. 支援金の支払以外に、実証に必要な市施設における調整、テストいただく市民への参加声掛け、市のイベント等におけるPR、大学・研究機関等における相談のあっせんが可能です。



12.ご応募時のポイント

- 製品・サービスのイメージの伝わる画像や資料があると嬉しいです。
- 御社の事業へのメリットもお伺いしたいです。
- チーム情報では、具体的に役割、人数や専門性をお伺いしたいです。



13.お問い合わせ

- 担当部署への個別のご連絡はご遠慮ください。
- どうしても確認したい点がございましたら、下記お問い合わせフォームよりお問い合わせください。

- お問い合わせフォーム

<https://www.hatch-tech-nagoya.jp/kadai-inquiry/>

- 事務局メール

urban_innovation_japan@communitylink.jp



皆さんのご応募お待ちしております！

